

ソフトウェアを活用した 質的データ分析のはじめ方

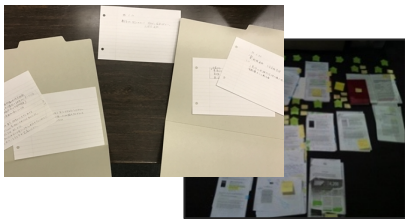
笹生智子 / SASO Tomoko (saso@qdaa.info)

私たちは日々さまざまなデータを取り扱っています。研究において、あるいは学習やビジネスにおいても、データの種類と量は増える一方です。これらを管理、整理、分析し、関連性やパターンを見出していくための支援ツールが MAXQDA に代表される QDA ソフトウェアです。

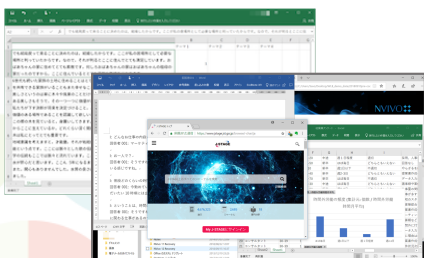
QDA ソフトウェアは人間の代わりに答えをだしてくれるものではなく、人間が答えを出すための作業を効率化する便利な文房具のような役割を果たします。そのため、誰でも必ず同じ使い方をするわけではなく、どの機能をどのように使うか、その使い方が使用者に大きく委ねられています。提供される機能は多岐にわたり、近年では多くのソフトウェアで AI による支援も追加されています。

このセッションでは、ソフトウェアの活用により可能になること、MAXQDA どのように使い始めるか、そして視覚化や AI の支援などソフトウェアならではの便利なヒントも紹介します。

(専用の)ソフトウェアを使わない質的データ分析



どこかで読んだ覚えがあるのに見つからない
ポストイットがはがれてしまった
どうやって階層化しよう？
A にも B にも入っていて C に入っていない、20 代男性の発言 - どう探せば？



複数のソフトが必要
前後を読み直したいが・・・
テキストの区切りを変えてコード割り当て直したい
コピーを繰り返すうちにどこかで間違えてしまった

ソフトウェアを活用した質的データ分析

- さまざまなタイプのデータ
コード、アウトプットがリンク・検索可能
→ 管理がしやすい
→ つながりを見失わない
→ 複雑な検索も可能、見落としを防ぐ
- プロセスが記録されている
→ 透明性、追跡可能性
- ライティング支援
→ 分析対象とは別に自分のアイデアを記録



研究プロセスを支援

- 1プラットフォーム
- 俯瞰と詳細を自由に行き来する
- 記憶に頼らず
- 効率的 - より重要な活動に時間をかける

+

AI活用の可能性

MAXQDA を使い始める

- まずは小さく使い始める
マーカーと付箋の代わりでも
- サンプルプロジェクト
検索や視覚化を試してみる
- 自分の研究、データに合わせて
- 他ユーザーからのヒント



たいていのことはできる



AI Assist を試してみる

